

「第3次美馬市環境基本計画」の策定にあたって



20世紀後半以降、私たちは大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済構造によって便利で豊かな生活を実感してきました。

しかし、その副作用として温室効果ガスの問題に代表される地球規模での環境破壊が進行し、私たちの生活環境が脅かされています。

さらに、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」をはじめ、平成28年に発生した「熊本地震」や「平成30年7月豪雨」によって、大規模災害時に発生する大量の災害廃棄物処理の問題や、原子力発電所が被災した場合の放射能汚染対策など、新たな課題が露呈しています。

一方で、原子力発電所の相次ぐ停止によって、全国で電力需給逼迫時に備えた市民生活や経済活動の見直しが求められ、電力の自給自足や安全な自然エネルギーへの転換が注目されています。

美馬市は、環境基本法に基づく国の環境施策に準じ、市内に存在している豊かで美しい自然環境を将来へ引き継いでいくための指針として、平成20年3月に「美馬市環境基本計画」を策定し取り組みを進めてきました。

計画は、50年先の環境の在り方を見据えたものとなっていますが、第2次計画において、重点的に取り組む施策については、平成31年度を目標年次に設定していたことから今回、第3次計画として一部見直しを図りました。

環境問題は、日常の生活スタイルと社会経済システムが大きな原因となっています。そのことを行政・市民・事業者・民間団体それぞれが自覚・共有したうえで、豊かな自然環境を守り、生活スタイルと社会経済システムの転換を図るため一体となって行動を起こしていかなければなりません。

そのため、本市の理想の環境像である「自然と人にやさしい環境のまち」の実現を目指して様々な取り組みを進めてまいりますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

終わりに、この第3次計画の策定にあたり、ご審議いただきました「美馬市環境市民会議」の委員の皆様にご心からお礼を申し上げます。

令和2年3月 美馬市長 藤田 元浩